

令和3年度 非核都市宣言平和事業実行委員会
第5回議事録（要旨）

日 時：9月21日（火）午後6：15～

会 場：かたらいの道市民スペース

出席者：委員 12名（中里委員長、小餅副委員長、牛田委員、大上委員、北山委員、柴田委員、島津委員、高橋委員、高橋委員、田村委員、寺尾委員、元田委員）

事務局 3名

傍 聴 2名

1 開会

2 議題

（1）夏季平和事業の振り返り【資料1-1、資料1-2、資料1-3】

・事務局より夏季平和事業のアンケート結果等について説明。

【委員】一般向けイベント「おかあさんの被爆ピアノ」上映後、お声がけいただいた参加者がとても熱心に語っていた。出演者のファンと言っていたが、参加のきっかけが平和への関心でなくても、異なる分野からの興味で来ていただいて、平和を広げていければ良いと思う。また、市民でなくても関心を持っている人なら参加できる武蔵野市の取り組みはすごいとおっしゃっていただけ。

【委員】アンケート結果を見ると、新しい人たちが様々なことに気付いてくださったことがわかる。

【委員】子ども向けイベントは親子で参加可能という表現にすると良い。親子で来ても子どもだけ入場して後で迎えに来る方が多かった。

【事務局】今後入れたい。

【委員】映画の表現方法として直接的な表現があるものではないものをここ数年扱ってきて、今年も様々な見方ができるもので好評だった。

【委員】吉祥寺ファミリーシアター「ぞうれっしゃがやってきた」を観劇した。隣に座っていた子どもがだんだんと前のめりになっていて、すごく良かったと思う。

【委員】子どもが観に行ったが、「どうだった？」と聞くととにかく「すごい」と言っていた。初めて演劇を観たこともあり、自分の中で何がすごいのか消化できていないということもあると思う。良かった。

（2）平和の日イベントについて【資料2-1、資料2-2、資料2-3】

・事務局より平和の日イベントについて説明。

【委員】バルーンリリースを行ったあと風船はごみにならないのか。

【事務局】その場で落ちてきたものは回収する。風船は土にかえるものを使用するので、問題ないと思われる。

【委員】資料の写真を見ると、バルーンにひもがついている。鳥の足にからまったり、ごみになったりしないように注意したほうが良い。

- 【事務局】若者からの平和メッセージを大学生委員にお願いしたいと考えている。実行委員会でご承諾いただければ高橋委員にお願いしたいが、高橋委員、いかがか。
- 【委員】やらせていただきたい。
- 【委員】活躍を期待している。
- 【委員】平和の集いは30分間の催しだが、資料2-2にある内容をすべて実施するのか。
- 【事務局】資料2-2ではこれまでに議論した中で出てきた案などをお示ししている。
- 【委員】平成29年度の式次第をもとに、内容を決めようとしているのか。
- 【事務局】お見込みのとおり。
- 【委員】これまで平和の集いで音楽などを取り扱ったことはなかった。時間の制約や音響設備などの都合があるとはいえ、せっかくテントを立てるので、内容がこれだけではもったいないという気持ちはあるが、仕方ない。
- 【委員】追悼のことばは誰にやってもらうのか。また「追悼のことば」という言葉はしっくりこない。お話しいただく方にお任せとはなるが、空襲体験や平和の日条例制定から10周年であることに触れてほしい。
- 【事務局】事務局としては、中里委員長や島津委員などをお願いしたいと考えている。「追悼のことば」に代わる言葉については検討する。
- 【委員】講演会の定員が少なすぎる。去年は動画をオンラインで公開したが、今年も実施するのか。
- 【事務局】講師にご承諾いただけたので、動画を後日公開する予定である。
- 【委員】お役に立てることがあればお手伝いしたい。
- 【委員】ミニミニ空襲パネル展は昨年と同じものか。
- 【事務局】同じものである。もしご提案があれば検討したい。
- 【委員】飽きるということはないのだが、新しい写真を取り入れてはどうか。
- 【事務局】市で新しい写真を収集する機会がなく、なかなか難しい。
- 【委員】宣伝する際に「ここが変わりました」とは言いやすいが、「いつもと同じです」とは言いにくい。武蔵野ふるさと歴史館でアメリカが作成した中島飛行機関係の資料を収集している。上空から撮った写真と地上から撮った写真のように、アメリカからの視点と日本からの視点を比較できると面白い。
- 【事務局】今年は難しいかもしれないが、来年度以降できるか武蔵野ふるさと歴史館にも相談したい。
- 【委員】コミュニティ研究連絡会でも武蔵野ふるさと歴史館から借りている。そういったことができれば良い。
- 【事務局】大石芳野展の広報については、現在の展示が終わり次第出していく。
- 【委員】オンライン意見交換会は後から見られるか。
- 【事務局】録画の予定はないが、報告要旨は作成する。
- 【委員】オンライン意見交換会の広報はどうするか。
- 【事務局】まずはトライアルなイベントとして少人数で実施する。市報などで広く周知する予定はない。
- 【委員】どれくらいの自治体が参加するのか。
- 【事務局】都内26市のうち、平和の日や条例を制定しているところなどに声をかけた。

【委員】国際交流協会の留学生などにも参加してもらいたいが、日本語スキルの点で難しいかもしれない。

【事務局】今後実施していくうちに参加していただけるよう工夫したい。

(3) ご提案いただいたイベント案について【資料3】

・事務局よりこれまでにご提案いただいたイベントについて説明。

【委員】スマホで写真を撮って図鑑を作るアプリを使う市のイベントがある。記憶の解凍プロジェクトもそういったアプリを使って実施できると面白いと思う。

【委員】記憶の解凍プロジェクトはテレビでも放送されていた。

【委員】俳句に限らず、短歌を募集しても良いと思う。

(4) 令和4年度憲法月間記念行事について【資料4】

・事務局より令和4年度憲法月間記念行事案について説明。

【委員】日本学術会議で任命拒否された加藤陽子さんは話が面白い。憲法月間記念行事だからといって憲法学者を呼ばなければならないわけではないと思うので、歴史学者でも良いと思う。

(5) その他

・事務局より青少年平和交流派遣事業について報告

・事務局より大石芳野写真展のチラシについて報告

【事務局】チラシの配布にご協力いただける方は事務局までご連絡いただきたい。

・委員より自治体独自の平和の日の制定状況及び中島飛行機武蔵製作所の配置図について説明

・次回の委員会は、10月28日(木)午後6時15分～かたらいの道市民スペースで開催する。

3 閉会